

# 卒業予定者が語る電子情報工学科の魅力

## 参加者

- A 君（東証 1 部上場の総合設備工事会社に内定）
- B 君（東証 1 部上場の総合設備工事会社に内定）
- C 君（東証 1 部上場の電子部品製造企業に内定）
- D 君（地元広島 of 優良機械加工メーカーに内定）
- E 君（東証 1 部上場の工作機械メーカーに内定）
- F 君（東証 1 部上場の車載機器メーカーに内定）

司会「皆さん、卒研で忙しい最中に集まっていたいただき、ありがとうございます。また、就職の内定、おめでとうございます。本日は電子情報工学科の魅力について語っていただきたいと思います。まず、電子情報工学科に入学する前に本学科に対してどのようなイメージを抱いていましたか？」

D 君「入学前はパソコンの内部に関する知識を学べそうな学科であるとイメージしていました。」

C 君「私もパソコン関係のことが学べる学科だと思っていました。」

A 君「僕はパソコンの基礎となるプログラムを学ぶところだと思っていました。」

B 君「私もプログラムを扱うイメージが強かったです。」

E 君「コンピュータや電子回路について学ぶところといったイメージですね。」

F 君「僕はひたすらパソコンや回路に向き合って勉強するイメージがありました。」

司会「入学後にそのイメージはどのように変化しましたか？」

D 君「**パソコンの知識**だけでなく**電気回路の設計**についても学べることができたので、お得に感じました。」

C 君「私もパソコンのみならず、**ソフトとハードを両方学べる学科**だったんだと感じました。」

B 君「組み込みシステムでプログラムを学習するときも、**回路をイメージしてプログラム**するようになった。」

A 君「僕は入学したての 1 年生の頃からプログラミング関係の授業より**電気関連の授業が多く**感じ、最初のイメージとの違いに驚きました。」

E 君「学ぶことには変化はあまりなかったが、**実験や手を動かす場面**が入学前に想像していたより多かったと思います。」

F 君「実験の講義ではスライド発表があつたりと、**インプットだけでなくアウトプットの経験が積めると**感じました。」

司会「今までの学生生活を振り返って、本学科の長所と短所を教えてください。」

D 君「そうですね～。長所としては、機械の外部的な設計と機械を動かすためのプログラムを作成する内部的な設計の両方の分野を学べる点ですね。短所と言えるか分からないけど、どちらの分野の授業も基本的な学習が中心なので、より深く学ぶには自発的に勉強しなければならない点ですかね。」

C 君「僕は長所としては、他校では取得できない資格(教員免許(数学)等)があることです。短所はやっぱり場所を東大阪本部と間違えられることかな～。

B 君「長所は学校推薦を求める企業の求人数が多いことかな。短所は大学の場所が東大阪と勘違いされることかな。」

A 君「学科で学んだことを振り返ってみると、社会に出てからも使えるスキルが学べた点が大きな長所かな。短所は、東大阪キャンパス比べると設備的に発展途中であることです。」

E 君「長所は学部内で比較的レベルの高い学友と学ぶことができた点かな。短所と言えるか分からないけど、学業成績が良好ではない学生にとっては課外活動やバイトの両立が難しい学科だということかな。」

F 君「長所は勉強する分野の範囲が広いので、どの分野の人とも技術的な話ができることです。短所はあまり思いつかないです。」

司会「工学部キャンパスと東大阪キャンパスを比べると辛いよね～。でも、工学部も段階的にトイレが綺麗になっているし、数年後には食堂やその周辺も綺麗になるんだよ。卒業してから工学部にくると驚くと思うよ。それでは、就活をする上で本学科に入学したメリットを感じたことはありましたか？」

E 君「応募できる会社の数が工学部の中でも比較的多く、様々な業種の会社へ応募できる点に大きなメリットを感じました。」

D 君「そだねー。電気の知識を持つ人材は様々な分野で必要とされているので、選択の幅の広さにメリットを感じました。」

C 君「有名な企業への推薦が多いことかな。」

B 君「学校推薦で就活できたこと。」

A 君「学校推薦を希望する企業の数が多いこと。企業が本学科の学生を求めていることを実感しました。」

F 君「電子情報工学科で身に着けた電子系・情報系の2つの分野の専門知識は、どのメーカーでも必要とされる知識であるので採用担当の方に好印象であった。」

司会「現在、再来年度入社の求人を求めて2日に1回くらいの割合で多くの企業の採用担当者が学科の就職担当を訪問されています。その企業の就職担当者は『電気と情報の知識のある学生は、どこでも引っ張りだこですよ。』と言われていました。私もまったく同感です。君たちは有利な環境で就活ができて本当に良かったですね。それでは最後に、受験生に電子情報工学科を推薦するとしたら、どのように推薦しますか？」

D 君「この学科では電気と情報の両方の分野を学ぶ事ができます。この両方を学んでいる人材は少ないため、将来企業に入社後もこの学科で学んだことは強みになると思います。」

C 君「ソフトのみならずハードのことも学ぶことができ、ほかでは取得できない資格を取得できますよ。」

B 君「就活面で電子情報工学科はサポートがしっかりしていると思います。」

A 君「電子情報工学科で就職を考えるなら、あまり後悔のしない大学生活をおくれると思います。」

E 君「将来的にプログラミングを扱う機会も多くなるし、電気電子は生活になくてはならないものなのでどの学科を受験するか迷っているなら、電気と情報を両方学べる電子情報工学科がお勧めです。」

F 君「電子情報工学科で学んだことで、マイコンで電子工作をしたり、プログラミングでゲームを作ったり、何でも自分の思い通りのことが出来るようになれば楽しいですよ。」

司会「本日は卒研でお忙しい中、ありがとうございます。卒研に励んでください。」